

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和4年7月12日(火)午後1時34分～午後2時03分(9階 908 会議室)

○出席委員(8名)

委員長	阿部 亨
副委員長	小熊 省三
委員	沢井 和宏
委員	丹治 誠
委員	尾形 武
委員	粕谷 悦功
委員	半沢 正典
委員	渡辺 敏彦

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「郊外型大型商業施設開業に伴う本市への影響と対策に関する調査」

- (1) 当局説明について
- (2) 行政視察について

午後1時34分 開 議

(阿部 亨委員長) ただいまから経済民生常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

郊外型大型商業施設開業に伴う本市への影響と対策に関する調査についてを議題といたします。

当局説明についてを議題といたします。

先日の委員会では、当局説明の聴取内容についてご協議をいただきました。それらを基に正副委員長手元で当局説明案を作成いたしましたので、ご覧をください。

まず、1、調査の日時ですが、令和4年8月24日の午後1時30分から午後2時30分まで、説明20分、質疑40分程度を見込んでおります。

場所は、908会議室を予定しております。

次、3の聴取内容ですが、本市が想定をしている大型商業施設による影響と対策について、現時点における本市の想定について聴取をしたいと考えております。

次に、(2) 商店街の現状については、市中心部で小売業等を営んでいる方等を対象とした経営実態調査を令和3年度に実施をしております。それらも含めた内容を聴取したいと考えております。

次に、(3) 商店街活性化等支援については、先日設置された街なか賑わい創出プロジェクトチームの内容も含めて聴取をしたいと考えております。

次に、(4) 本市で想定している大型商業施設との連携について、観光面など、商工観光部で想定をしている大型商業施設との連携について聴取をしたいと考えております。

最後に、4、当局説明の出席、こちらは商工観光部の職員です。

以上が正副委員長案でございますが、皆様より何かご意見がございましたらお願いをいたします。

(粕谷悦功委員) (4) 番、本市で想定している大型商業施設との連携という、連携取って大型商業施設と福島市民の消費者、これは何かあっちには買物にうんと行けよみたいな、行くのがいいのではないみたいな、そういう捉まえ方もできないことはないのだな、連携って。だから、何、どういうことなの。

(阿部 亨委員長) 観光面とか、いわゆるイオンモールとか、大型商業施設と本市において、今粕谷さん言ったように、買物に行けとか、そういうことではなくて、観光面なら観光面で何か連携をしてやれる部分とか、そういうことをやっている部分があるかとか……

(粕谷悦功委員) そんなのないでしょう。まだないのだから。

(阿部 亨委員長) あと、実際商工観光部である程度想定している部分とかがあるかとか、あと後々これイオンモール等も参考人招致はやりませうけれども、それ以前として商工観光部で何か考えているものとかがあるかなどを聴取するということなのですから。

(粕谷悦功委員) そういう内容で書いたほうがいいのか、これ。そういう内容であれば、そういうことの内容で聞くということにしたほうがいいのか。何か連携という言葉って、簡単だけれども、両面取られるから。俺も分からないのだ。観光ってどういうことなの。例えば、分からないな。

(阿部 亨委員長) 確かにざっくりしている感じはあるのですけれども、何か特化するとか。

(粕谷悦功委員) あそこを利用するお客さんに福島の観光のアピールをしたり、あるいは福島の観光の施設とか紹介して、そういうところに誘導するのだとか、こういう内容ならいいけれども。

(阿部 亨委員長) いわゆるブースとか……

(粕谷悦功委員) お互いに連携を図って、お互いに行ったり来たり、行ったり来たりということになると、これは商店街何やっているのだということになると思うぞ。

(阿部 亨委員長) これだと捉まえ方としては誘導するとか、お客様を呼び込むとか、むしろ買物を勧める、そういうふうにも捉えられるのでないかということ。

(粕谷悦功委員) うん、連携ってお互いに行ったり来たりすることだから。

(渡辺敏彦委員) 大型施設との連携って、大型施設ができたところと話をしながら、どういう連

携取れるかという話になるでしょう。例えばできた伊達市と話しするということならば何となくイメージとして湧くのだ、これ。だって、施設そのものと連携取るとい話なのでしょう、福島市が。例えば伊達市で今回遊性持たせようとか、いろんな振興計画つくっているでしょう。あれ手に入れられるものならば、それは手に入れて、市民向けに出しているのだから。それを見ながら、こっちでどうこうと考えたら。だって、施設だから、イオンモールといろいろ連携をしていこうというのは、伊達市とか関係あるでしょう。施設直接ではないでしょう、これ。

(粕谷悦功委員) 伊達市の場合は、イオンモール、この施設と連携図るといのは、それはいいのだ。伊達市の利用者関係を例えば梁川のどこかとか、保原のどこかとか、伊達市内のそういう施設、観光地なんかを巡るようなものを見に来てくださいよというようなことの話をするのはいいけれども、福島ではないから、これ。あそこの利用者を福島に誘導してくるといこと。誘導しなくてはいけないわけだから。こっちだけ優先にして、こっちに引っ張ってくるといことだから。

(阿部 亨委員長) 大型商業施設に来た方をこちらに観光面等々で引っ張るといような、そういうことなのですけれども、それをはっきり書くといか、分かりやすくといか、示したほうがいいといことですね。意味としてはこういことなのですけれども、ここの。粕谷さんから今連携といのは確かにどっちにも取れるといか。

(粕谷悦功委員) これイオンが聞くと喜ぶ表現なのだよな。

(阿部 亨委員長) でも、商観部に聞く部分ではその部分を聞くといことなので。

(粕谷悦功委員) 大型商業施設利用者の福島市への観光誘導策とかか。

(阿部 亨委員長) そうい感じの。

(渡辺敏彦委員) 結局1番目の影響と対策でしょう。対策をどういものなのかといたってあくまでも対策なのだよ。これを福島市にあそこに来たお客さんを引っ張るのは、この4番で別枠で考えるしかないのだ、多分。だから、これ連携なんてい形になってしまったのだろけれども、それ今粕谷さん言っような話で、あっちのお客をどうやって引っ張ってくるかとか、そうい施策的なもの入れておいたほうがいいのではないのかい。そうすると何となく考えられるかもしれない。

(阿部 亨委員長) そうすると、(4)番に関して、本市で想定している大型商業施設との連携についていこと、例えば観光面等々で大型商業施設から本市のほうへ人を呼ぶといか、呼び寄せるよな、そうい想定している部分で何か考えられる部分があるのかと、そうい部分も聞くといよな形で。これはこのままにしておいて、その内容を入れて聞くといよな、そうい形でよろしいですか。

(粕谷悦功委員) はい。

(阿部 亨委員長) では、4番のほうはそのようにしておきたいと思います。

ほかに何かご意見等ございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(阿部 亨委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、行政視察についてを議題といたします。

行政視察の方向性等について皆様からご意見をいただきたいと思いますが、活発な議論が行えるよう自由協議とさせていただきます。

なお、自由協議中は録音を停止したいと思います。

それでは、ただいまから自由協議としますので、録音のほうを停止お願いいたします。

【この間自由協議】

(阿部 亨委員長) 自由協議を終結いたします。

本日の皆様の意見をまとめます。

行政視察で聴取する内容等は、商店街の活性化支援策、他自治体の商店街活性化支援事例等を聴取。福島市とイオンの連携、行政と大型商業施設の連携事例については、参考人招致においてイオンから聴取する。

視察の方法に関しては、従来どおりの宿泊を伴う遠隔地への視察を考える。ただし、コロナ関係、状況等によっては文書での照会、これも含める、視野に入れておくということです。

視察の時期に関しては、10月の下旬から11月の第1週、これを予定すると。視察先については、正副委員長に一任をさせていただく。

以上ですが、ということでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(阿部 亨委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

なお、繰り返しになりますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては視察方法が変更となることが考えられます。その際は改めてご協議をいただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

以上で経済民生常任委員会を終了いたします。

午後2時03分 散 会

経済民生常任委員長 阿部 亨